

モンゴル国からの活動報告 9 専門研修の開始と「国際助産師の日」のイベント

池本めぐみ

国立国際医療研究センター 国際医療協力局 助産師

はじめに

私は、独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency：JICA）の技術協力プロジェクト「医師および看護師の卒後研修強化プロジェクト」の長期専門家として国立国際医療研究センターからモンゴル国に派遣されています。

2022年11月号でご紹介させていただいた「助産師の専門研修カリキュラム」が完成し、モンゴル国保健省で承認を受けました。そして、2023年4月23日にモンゴル国ではじめての助産師の専門研修が開始されました。

今回は、専門研修の開講式の様子と「国際助産師の日」のイベントをご報告させていただきます。

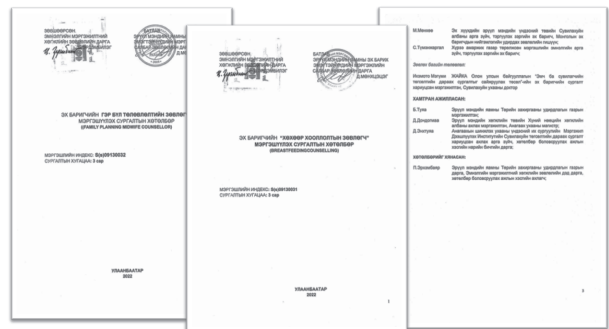
1. モンゴル国初の助産師の専門研修の開始

2021年12月、医療従事者の専門研修の開発に関する保健大臣令が発令され、助産師の専門研修の開発がはじめて命じられました。その領域とは、「妊娠準備のアドバイザー」「性および生殖に関する健康アドバイザー」「妊娠期および産褥期のアドバイザー」「母乳育児のアドバイザー」「家族計画のアドバイザー」の5領域です。これらのカリキュラムは、モンゴル医科大学の教員、助産師らと、助産師の専門研修の位置づけや定義、修了生の役割（専門分野の専門家というだけでなく、他の助産師への相談・指導役、他職種との連携をするなどを含めました）、今後の発展について検討し開発しました。2022年12月にモンゴル国保健省の医療従事者開発委員会という医療従事者の技術的なことを検討する最上の会議で議論され、2023年3月に承認を受けました。最後の最後で、議長の保健省事務次官が退任され、最終

的な署名とスタンプをいただくのに右往左往しました。実務を担う担当者とは、定期会議や廊下ですれ違うたびに、「スタンプをもらえましたか?」「まだです。実は…」を繰り返していたので、きっと最後の方は、私を見るとスタンプを思い出されたことでしょう。

2023年4月23日、モンゴル国ではじめての助産師の専門研修の開始となる開講式がモンゴル医科大学で開催されました。保健開発センターのB. Battsooj人材開発部部長は、「UNFPAの報告書では、『助産師は、産婦人科領域のサービスの8割を提供できる』と報告されており、これからのモンゴルの助産師の活躍に期待しています」と述べられました。開会式の最後には、23名の助産師の研修生の代表であるB. Gan-Ulzii助産師が研修への希望と専門研修のカリキュラムの開発者らへの感謝を述べました。

専門研修の開講式は、助産師にとって歴史的な大きな1日であり、希望とやる気がある生き活きとした様子でした。専門研修で学んだことを職場で活かし、女性や母子へのサービスがさらに良くなることを願っています。今後は、専門研修の実施をモニタリングし、必要であれば支援していきたいと思えます。



専門研修のカリキュラム



専門研修の研修員，指導教員らと

2. 「国際助産師の日」のイベント

世界では、5月5日を「国際助産師の日（International Day of the Midwives）」として50カ国以上でイベントが開催されています。モンゴルでも2017年から毎年5月5日を「国際助産師の日」としてイベントを実施しています。

2023年5月5日、「助産師という職業の価値，自律，リーダーシップ」というテーマで，モンゴル国保健省，モンゴル助産師会，UNFPA，JICAが対面とオンラインを併用したハイブリット形式でイベントを開催しました。開会式では，モンゴル国保健省のS.Chinzorig保健大臣が「へその緒のお母さん」と呼ばれる助産師に敬意とお祝いの言葉をかけ，助産師の能力の強化の重要性と期待，母子へのサービスのための政策の実施とその予定を話されました。また，UNFPAのKhalid Sharifi所長からは，UNFPAの活動や今後検討している事項が共有されました。JICAプロジェクトの井上信明チーフアドバイザーからは，「助産師の能力強化は，モンゴル国民，母子のためにつながるものです」と助産師への期待と励ましを送られました。

私は，助産師の卒後のコンピテンシーの創出（詳細は次号で）についての進捗をプレゼンテーションしました。現段階では，6つのコンピテンシー，その定義と構成要素，フレームワークの案が作成されています。これらの創出過程とその内容を，今後モンゴル国保健省の医療従事者開発委員会で検討される予定であることを共有しました。この時間の中で，印象に残る，助産師の皆様と心がつながるような，仲間であるように感じた瞬間がありました。フレームワーク案の説明の時です。フレームワーク案は，

助産師と開発した関係者すべての想いが込められています。モンゴル国の文化である移動式住居ゲルの窓の形を基盤に，繁栄や命が芽生える奇跡を表す大麦，この世のすべてを表すシンボル，ゲルの窓のひとつひとつに助産師のコンピテンシーが入っています。色は，助産師や愛を示すピンクです。この説明をした際に，自然と会場から拍手が沸き起こりました。助産師が，コンピテンシーとその意味を感じ，自分たちの専門職を表すフレームワークを持つことの喜び，そして，このフレームワークを胸にする日を楽しみにされていることを感じました。



S.Chinzorig保健大臣の挨拶



「国際助産師の日」のイベントの集合写真

おわりに

2021年11月に助産師の活動が開始し，1年半以上が過ぎました。モンゴルの関係者の方と準備や検討していたことが少しずつ形になりはじめています。何かが完成すれば終わりではなく，準備や検討をした時間はモンゴル国の保健医療人材や省庁の能力強化の時間でもあると思います。今後は，未来の助産師のリーダーとなる中堅の助産師も巻き込んでいきたいと思っています。

最後になりましたが，ともに活動している皆様および日本からご支援ご指導いただいている皆様に深く感謝申し上げます。